

## 様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

## 産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和2年6月11日

宮崎県知事 河野 俊嗣 殿



提出者

住所

宮崎市田野町乙9634-7

氏名

有限会社テクニカル・キナイ

代表取締役 喜内 靖公

電話番号

0985-86-1595

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、平成31年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	有限会社テクニカル・キナイ
事業場の所在地	宮崎市田野町乙9634-7 県内
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日

## 産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	6447.5 t	全処理委託量	6447.5 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への 処理委託量	27 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への 処理委託量	6042.5 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃石膏ボード )

有 償 物 量
① 96.08

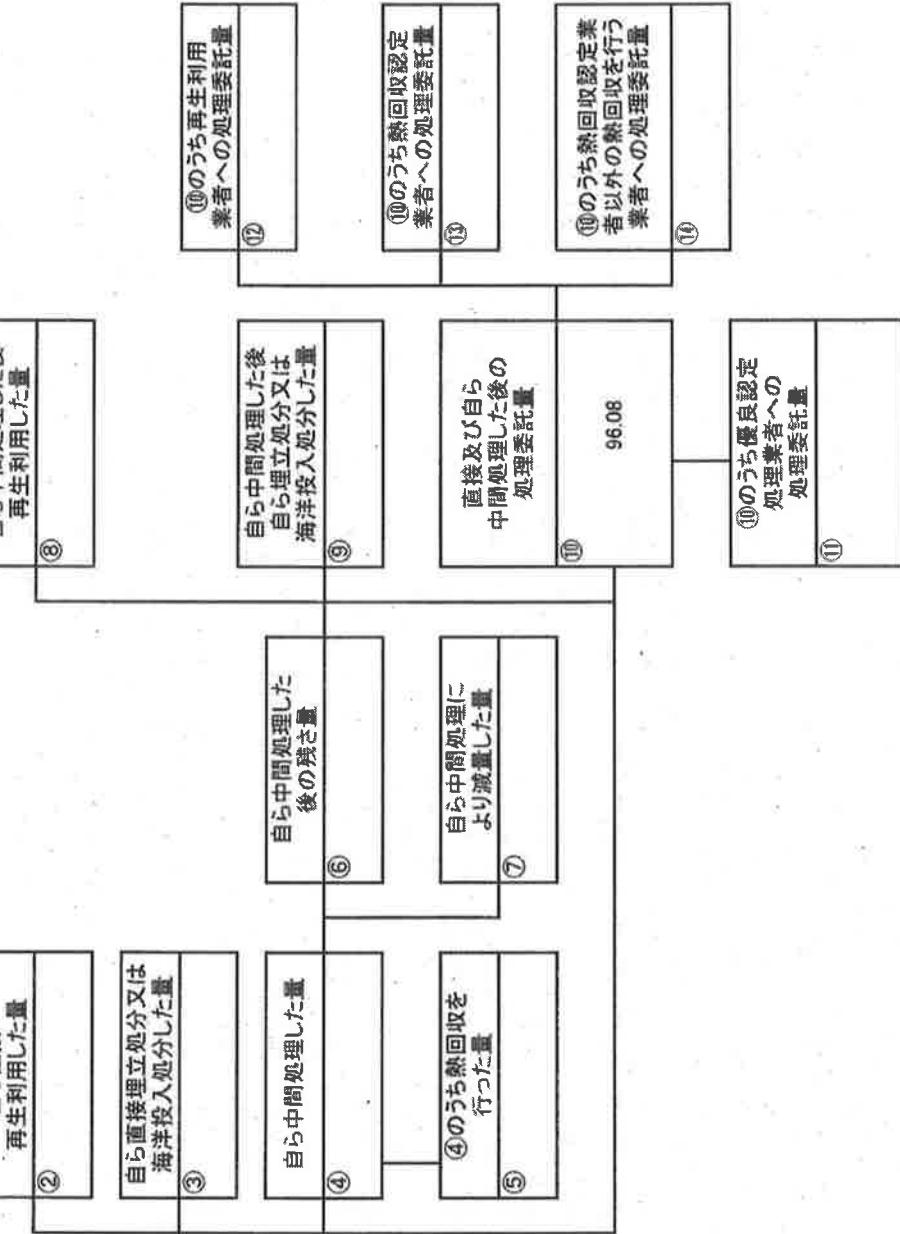
不 要 物 等 発 生 量
② 自ら直接 再生利用した量 0

排 出 量
③ 自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量 0

自ら中間処理した後 再生利用した量
④ 0

項目	実績値
①排出量	96.08
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した 量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋 投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	96.08
⑪優良認定処理業者への処理委託 量	0
⑫再生利用業者への処理委託 量	0
⑬熱回収認定業者への処理堆 量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回 收を行う業者への委託処理量	0

( 添付図 )



計画の実施状況

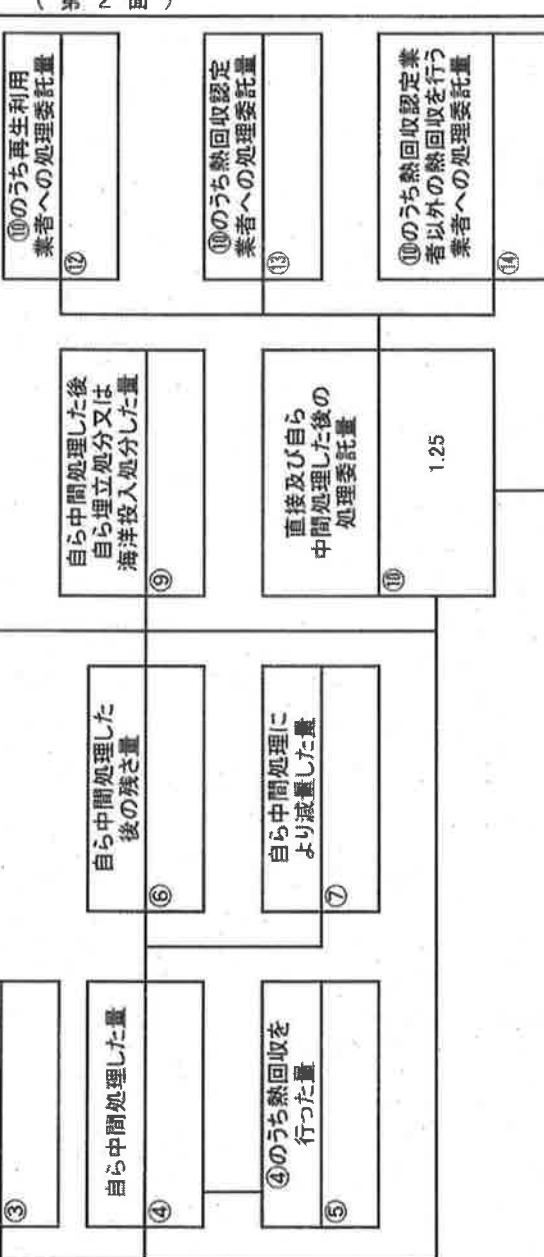
(産業廃棄物の種類：木毛板 )

有 備 物 量
不要物等発生量

不 妨 物 等 発 生 量
自ら直接再生利用した量 ②

排 出 量
自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 ③

項目	実績値
①排出量	1.25
②+③自ら再生利用を行った量	0
④自ら熱回収を行った量	0
⑤自ら中間処理により減量した量	0
⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑥
⑦自ら中間処理により減量した量	0
⑧自ら中間処理した後再生利用した量 ⑧	0
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 ⑩	0
⑪全処理委託量	1.25
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理堆積量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への委託処理量 ⑭	0



⑪のうち優良認定業者への処理委託量 ⑪
0

⑪のうち再生利用業者への処理委託量 ⑪
0

⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量 ⑪
0

⑪のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への委託処理量 ⑪
0

### 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃蛍光灯 )

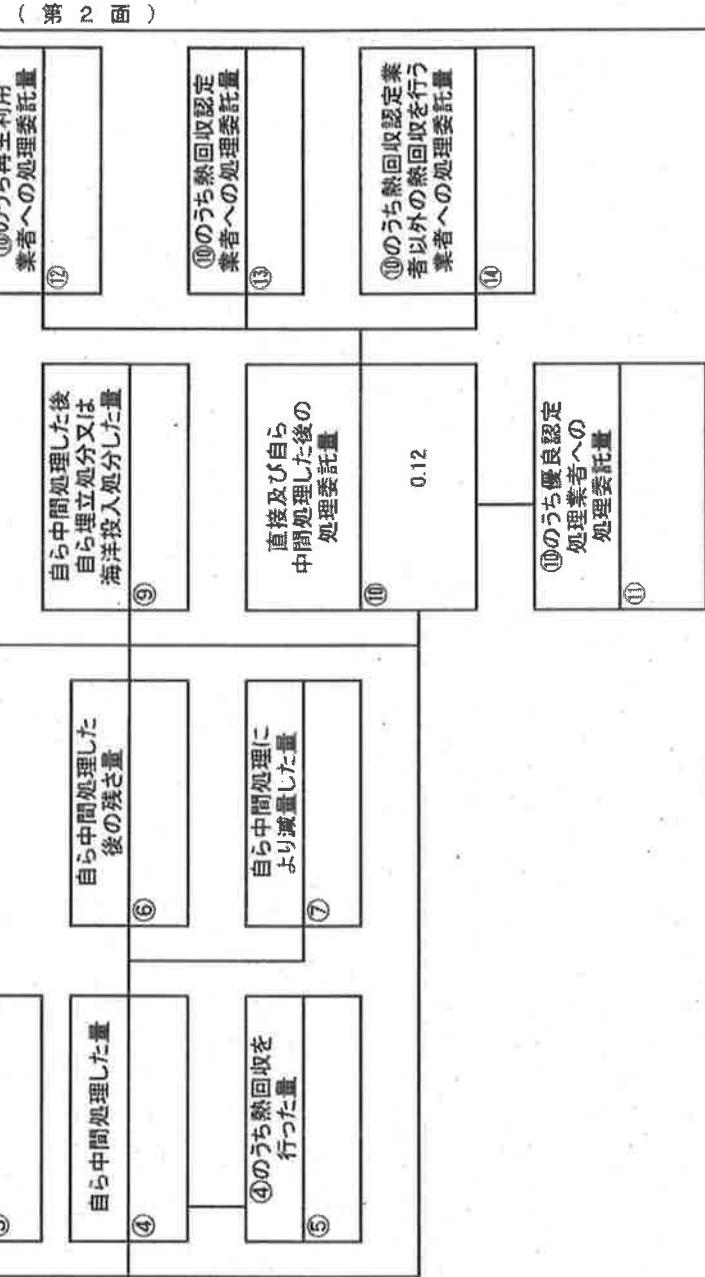
有 債 物 量
不要物等発生量

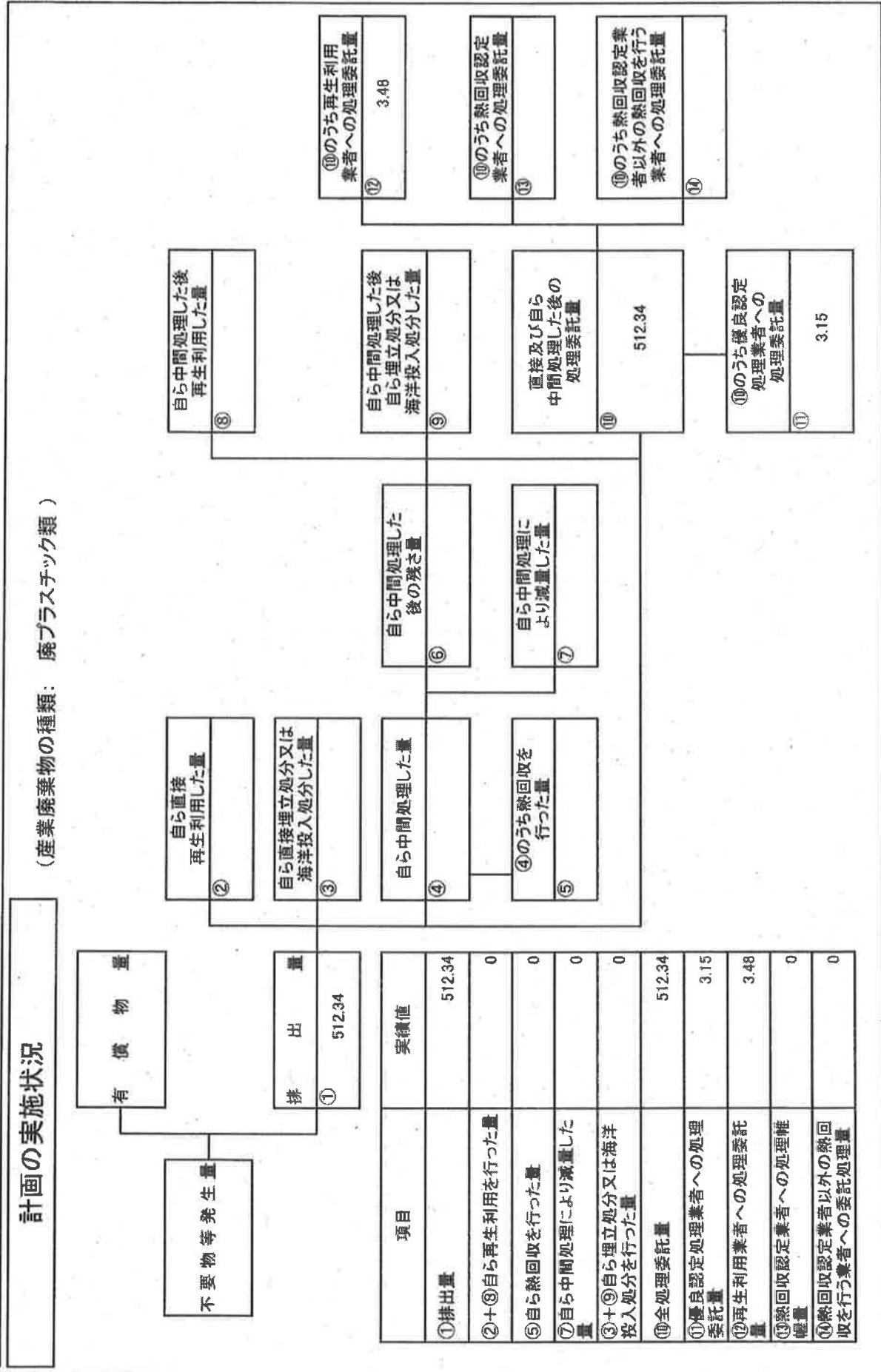
不 要 物 等 発 生 量
自ら直接再生利用した量 ②

排 出 量
自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 ③

自 然 物 量
自ら中間処理した後再生利用した量 ⑥

項目	実績値
①排出量	0.12
②+③自ら再生利用を行った量	0
④自ら熱回収を行った量	0
⑤自ら中間処理により減量した量	0
⑥自ら中間処理した後再生利用した量	0.12
⑦自ら中間処理により減量した量	0
⑧自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑨自ら中間処理した後再生利用した量	0
⑩全処理委託量	0.12
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行ふ業者への委託処理量	0





## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ガラス・コンクリート・陶磁器くず)

有 償 物 量
不要物等発生量

不 要 物 等 発 生 量
---------------------------------

排 出 量
① 2

項目	実績値
①排出量	2
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により凍量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	2
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への委託処理量	0

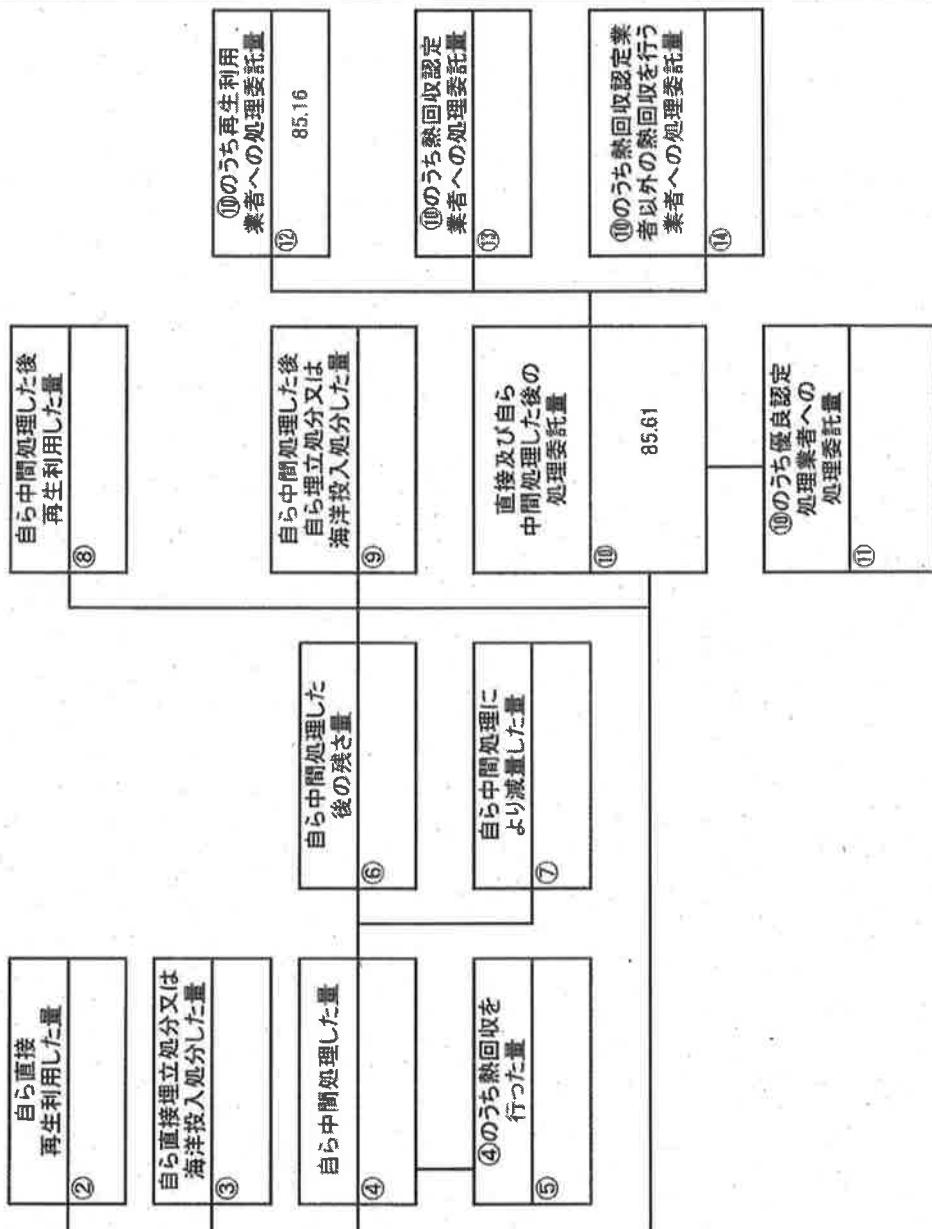
自ら直接 再生利用した量 ②	自ら中間処理した後 再生利用した量 ⑧	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量 ③	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑨	自ら中間処理した 後の残さ量 ⑥	自ら中間処理に より減量した量 ⑦	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑩	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑪	自ら直接 再生利用した量 ⑫
④	⑤	④のうち熱回収を行った量 ⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量 ⑫	⑪のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 ⑬	⑪のうち優良認定処理業者への処理委託量 ⑭	2					
⑭	⑬	⑪						

( 第 2 回 )

## 計画の実施状況

## （産業廃棄物の種類）

項目	実績値
①排出量	85.61
②⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら中間処理により減量した量	0
⑦自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	85.61
⑪優良認定業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	85.16
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭⑮熱回収を行う業者への処理委託量	0



## 計画の実施状況

穀類の種類

1

量物懷有

量生等物等要不

自ら直接  
再生利用した量

3122.93

①掛出量	
	実績値 3122.93

②自ら再生利用を行った量  
③自ら回収を行った量

③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	3122.93

①既設ビル又は未旨への処理委託量	3089.18
------------------	---------

①熱回収認定業者以外の熱回 収を行う業者への委託処理量	0
--------------------------------	---

自ら中間処理した後  
再生利用した量

10

自ら埋立処分又は  
海洋投入処分した量

直接及び自ら  
直間処理した後の  
中間

3122.93

⑩のうち優良認定  
処理業者への  
処理委託量

( 第 2 面 )

⑩のうち再生利用業者への処理委託量  
⑪ 3089.18

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量  
⑪

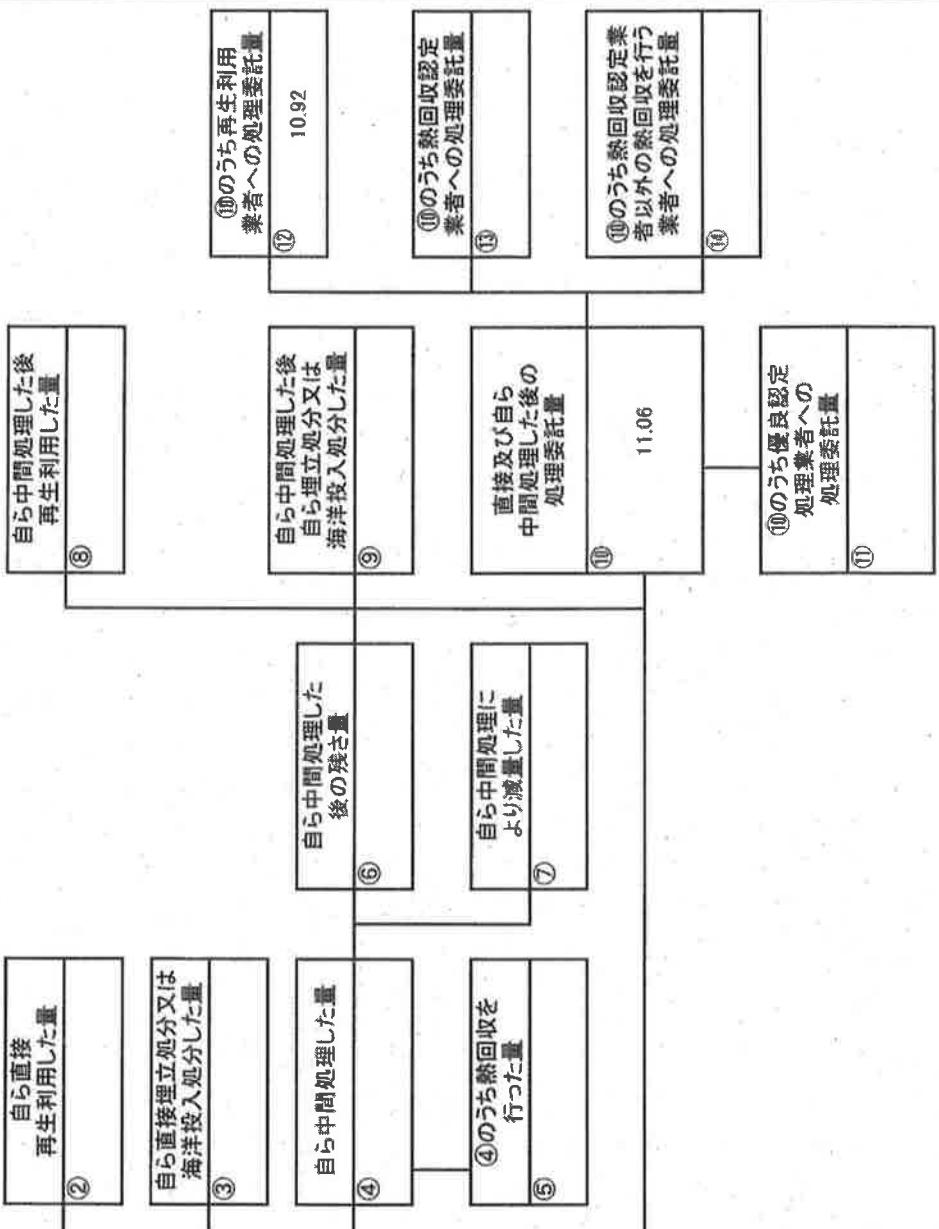
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

### 計画の実施状況

## (産業廃棄物の種類) 繊維(す)

項目	実績値
①排出量	11.06
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら中間処理により減量した量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	11.06
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	10.92
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収を行う業者への委託処理量	0

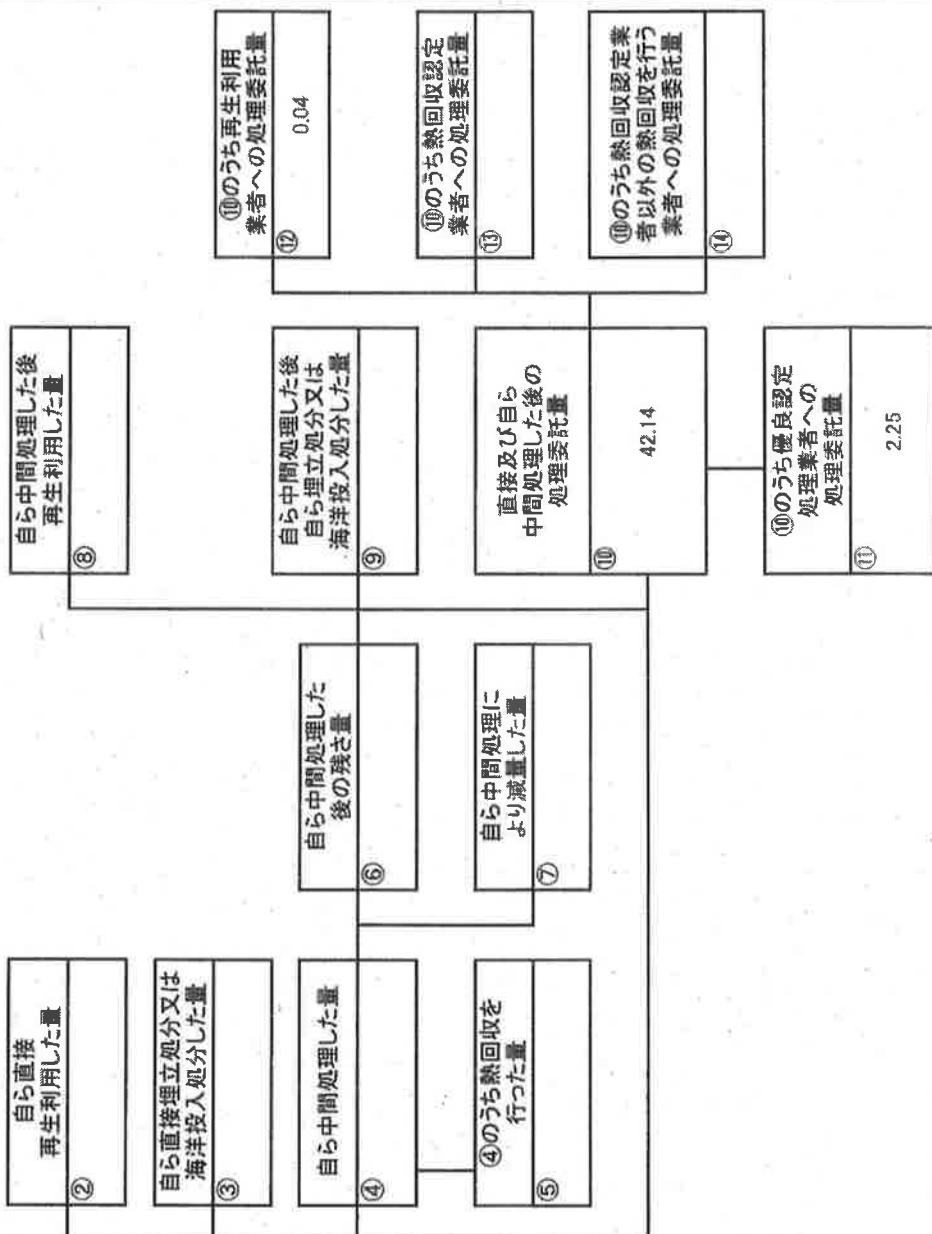
( 第 2 面 )



## 計画の実施状況

混合廃棄物

有 債 物 量	
不 要 物 等 発 生 量	
項目	実績値
①排出量	42.14
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑪全処理委託量	42.14
⑫再生利用業者への処理委託量	2.25
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.04
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への委託処理量	0



備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書 集計表

単位:t

	産業廃棄物の種類						項目	実績値	
	廃石膏ボード	木毛板	廃蛍光灯	廃プラスチック	木くず	がれき類	繊維くず	混合	合計
① 排出量	96.08	1.25	0.12	512.34	2.00	85.61	3,122.93	11.06	42.14
② 自ら直接再生利用した量									0.00
③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量									0.00
④ 自ら中間処理した量									0.00
⑤ ④のうち熱回収を行った量									0.00
⑥ 自ら中間処理した後の残さ量									0.00
⑦ 自ら中間処理により減量した量									0.00
⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量									0.00
⑨ 自ら中間処理後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量									0.00
⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	96.08	1.25	0.12	512.34	2.00	85.61	3,122.93	11.06	42.14
⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量									2.25
⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量									5.40
⑬ ⑩のうち熱回収認定処理業者への処理委託量									0.00
⑭ ⑩のうち、熱回収認定処理業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量									0.00

(この部分の入力は不要です)

※立米(m<sup>3</sup>)は、トン(t)に換算の上、記入してください。(換算係数は、市ホームページ中「マニフェスト交付等の状況報告」に掲載しております。

※「ガラス陶」は、「ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず」です。